

みどりの風

山口県自然観察指導員協議会 会誌

山口自然観察会 No.109

2021年 1月(新春号)



私たちは地球生命体の永遠なるいのちを願って活動しています

今後の会議の予定

第2回役員会 日 時 令和3年3月7日(日) 10時～下松市中央公民館

第3回役員会 日 時 令和3年6月6日(日) 10時～下松市中央公民館

第4回役員会 日 時 令和3年9月5日(日) 10時～下松市中央公民館

令和2年度 環境団体等 交流会が開催されます。

令和3年1月24日(日) 県セミナーパーク【大文字草 提供:大田会長】

義務教育における環境教育や事例発表として、環境パートナー、環境活動団体指導者の方の発表が予定されています。詳細は4Pをご覧ください。



表紙説明

10月26日、愛媛県西条市の横峰寺でピンクのダイモンジソウ(大文字草)を初めて観ました。綺麗で初めてだったので写真を撮りました。

第2支部 大田 和彦

令和2年(2020年) 西条市 横峰寺

新年にあたり

会長 大田和彦

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は3年振りに自然観察指導員講習会を行い、会員数が20名増え100名の大台に戻りました。若い人や教員の新会員も多く、これからの御活躍を期待しています。

また、昨年はコロナ禍のため春から秋までの半年間はほとんど野外での活動はできませんでした。現在も収束していませんのでこれからの活動はウィズコロナでいかないといけません。

環境省によると生物多様性条約締約国会議(COP10)の愛知目標は1割しか達成されていません。経済成長や消費を優先させたり、自然の豊かさを軽視したりしているからです。生物多様性を脅かす危機は4つあるといわれています。

- 開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少
- 里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下
- 外来種などの持ち込みや化学物質等による生態系の攪乱
- 地球環境の変化による危機(気候変動、温暖化)

これらの危機に対して身近なところから微力ながら生物多様性保全のために活動したいと思います。

会の活動が充実発展するためには会員各自の活動・協力が欠かせません。本部や支部の観察会や研修会には多くの会員が積極的に参加されますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御活躍を祈念致します。

第3支部 活動報告 コウモリの生態(講演)・秋吉台サファリランド視察
令和2年10月24日(土)

増野和幸

新型コロナウイルスの感染が哺乳類のコウモリに由来する旨のマスコミ報道もある時期、今回は山口県内で秋吉台の洞窟を調査フィールドとしておられる、科学博物館学芸員の石田麻里さんから、コウモリの生態に関するお話をききました。その後、科学博物館内の展示を見るなどの研修をしました。

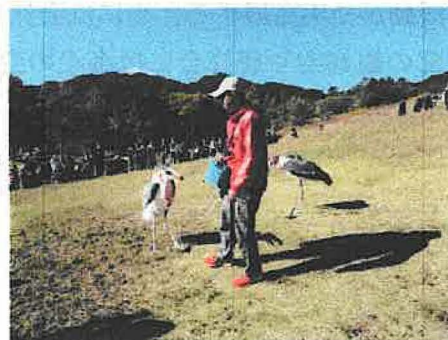
午前中の講演では、哺乳類の中の4分の1、約1000種が所属する大きなグループであること、日本に約35種、そのうち県内に6種生息していること。ヒトの聞くことの出来ない超音波を利用して生活していることなど、種類による形態や食餌の多様性など、興味ある内容でした。また、研究者が極めて少ないこと、コウモリの活動時間が夜に限定され、そのことで調査が難しいことなど、苦労話や失敗談もお話に出ました。近年、各地で建設されている風力発電用のプロペラの回転、その回転により発生する音などが、コウモリに与える影響や問題も出ているとのことでした。参加者からの質問も多くあり、楽しい時間を過ごすことができました。

その後、秋吉台サファリランドに移動し、昼食後、サファリランドの池辺祐介園長さんから、サファリでの野生動物との関わり方、ガイドのモットーなど、日頃、心がけておられることや対応の仕方などのお話をきき、車中から園内の見学、動物を前にガイドの実際などを、見学することができました。その中で、「動物に興味のない人も来園して来るが、動物をいかに伝え、どう振り向いてもらうか」というスタンス、「ガイドは単なる知識の受け売りではない」「興味をもってもらうための誘(いざな)いをする」と大切にしているとのことでした。とても考えさせられるお話がありました。

当日は、10人の会員あるいは会員の知り合いの参加があり、お天気も良く、とても楽しく有意義な研修会になりました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



(コウモリの生態について
スライドをもとに講演)



(アフリカハゲコウの
帰巣パフォーマンス)

今年も環境活動団体等の交流会が開催されます。最新の情報が得られるかもしれません。

令和2年度環境活動団体等交流会実施要領

1 趣 旨

環境活動に取り組んでいる団体等が、活動状況や課題等について情報を共有し、課題解決に向けた方途について意見交換を行うことで、活動を一層促進することを目的とする。

＜構成＞

環境活動団体(157)、環境学習関連施設(18)、環境学習指導者(149)、
県・市町環境学習担当課・センター(31)、環境学習推進センター

2 主 催

公益財団法人 山口県ひとづくり財団(県民学習部環境学習推進センター)

3 日 時

令和3年1月24日(日) 13:30～15:45

4 場 所

山口県セミナーパーク 講堂

5 参加者

環境活動団体の会員、環境学習関連施設の職員、環境学習指導者
県・市町の環境学習担当者、センター職員

6 日程・内容

13:00～13:30	受付
13:30	開会
13:35～14:15	講演 山口県教育庁義務教育課 指導主事 藤屋 慎一郎 氏 「小学校・中学校における環境教育」
14:15～14:45	事例発表① 【環境学習指導者】 環境パートナー 田原 義寛 氏 「山口県の生態系バランスを知覚する教育」
14:45～14:55	休憩
14:55～15:25	事例発表② 【環境活動団体】 (こどもエコクラブ8月の活動レポート新人賞) ガールスカウト山口県第3団 松本 弓 氏 「サステイナブル ガールスカウト」
15:25～15:45	環境学習推進センターからの情報提供
15:45	閉会

7 申込期限

令和3年1月18日(月)

8 問い合わせ・申込先

〒754-0893 山口市秋穂二島1062

公益財団法人山口県ひとづくり財団 県民学習部環境学習推進センター

TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720 E-mail kankyo.c@hito21.jp

かなごうけい 秘境金郷溪への陸上ルート (1)

第6支部(北浦自然観察会)永井要明

えもうくろう
山口市阿東蔵目喜の金郷溪は、これまでは萩市川上江毛九郎からゴムボートで行く他はない、県内の秘境中の秘境だった。金郷溪に行った人の大部分は私がゴムボートで対岸に渡して、そこから約1km歩いて猿溪瀑布まで往復した。延べで70人くらいである。5年前頃KRY山口放送が「秘境金郷溪に行く」というタイトルで放送したことがある。もちろんその時も私のゴムボートで行った。2年前NHK「ふるさと自然百景」で猿溪瀑布を放映したことがある。その時も私のゴムボートで行った。これらの番組を見た人の中には何とかして金郷溪や猿溪瀑布に一度行ってみたいと思っていた人も少なからずいたはずである。

今回はその中の二人が阿東生雲中本郷から栃崎へ行く道から長門峡林道の金郷溪の方に向かっている道を車で広い駐車場(H370m)まで行き、そこから林道を30分くらい歩いて林道の終点からとりあえず藪漕ぎで尾根伝いに進んで昔の道を見つけたそう。金郷溪・猿溪瀑布を確認した後、帰りは昔の道を林道終点まで戻って帰ったので、人を案内できると思い、何人かを誘った。その一人が阿東観光協会の椎木さんで、その人から私に連絡があった。

6月6日(土)、9:00に道の駅長門峡に5人(一人は女性)が集まり、もう一人は現地の駐車場近くで待っていた。生雲中本郷から栃崎の方へしばらく進み長門峡林道へ入る。林道は途中広い駐車場の手前で分かれるが、広い駐車場で下車する。一般車はここまでしか行けない。地図を見て欲しい。標高は約370m。9:30柵を越えて歩き出した。



柵を越えてしばらく林道を歩くと上の写真のような看板がある。

北浦自然観察会(第6支部) 2020年12月~2021年4月までの行事の詳細

永井要明 2020年

12月 6日(日) 長門市三隅高砂 山頂の景観をよくするための雑木の伐採と整備
8:00 萩市中央公園集合、8:30 三隅上中小野の公会堂
自家用車乗り合わせ 参加費 1000円

2021年

1月10日(日) 阿武町遠岳山
9:00 萩市中央公園集合 9:20 遠岳山登山口
自家用車乗り合わせ 参加費 700円

2月28日(日) 長門市蔵小田雨乞山
8:00 萩市中央公園集合 9:00 妙見山展望公園駐車場
自家用車乗り合わせ 参加費 1500円

3月28日(日) 山口市阿東十種ヶ峰のフクジュソウ、ミスミソウ。六日市のアズマイチゲ
8:00 萩市中央公園集合 9:20 十種ヶ峰山麓駐車場
自家用車乗り合わせ 参加費 1500円

4月 4日(日) 広島県もみの木森林公園 ハルリンドウほか
8:00 萩市中央公園集合 9:00 徳佐丸久駐車場
自家用車乗り合わせ 参加費 4000円

4月24日(土)、25日(日)一泊二日 岡山県新庄村毛無山・真庭市のサクラソウ・新見市無明谷のユキワリイチゲ、アズマイチゲ等
5:00 萩市中央公園集合 6:10 徳地インター
バス定員あり、参加費は未定(約2万円前後)

持参品 弁当・水筒・メモ帳 有ればカメラ・杖・双眼鏡 など

服装 歩きやすい服装、トレッキングシューズ又は長靴

カッパ又はポンチョ、リュックサック、帽子 など

案内と問い合わせ

〒759-1421 山口市阿東地福上 1103 永井要明

Tel. 090-8240-9785

令和3年度 第1回役員会議事録

開催日時・場所

日時 令和2年11月8日(日)10:00~12:00

場所 下松市中央公民館(ほしらんどくだまつ)交流室3

・出席 7名(大田、黒田、蔵田、永井、松原、脇田、植田)

議事

1 令和3年度定時総会

令和2年11月15日(日)10:00~15:00

アクトビレッジおの ビジターセンター

総会議案書検討一部訂正

2 機関誌電子メール化について

B5版封筒がかなり残っており、令和4年度から移行検討。

3 令和2年度自然観察指導員講習会

10月か9月か6月に秋吉台で実施予定

4 「みどりの風」編集会議

原稿締切 12月15日(火)できるだけ早く

・その他

会員名簿の確認訂正

11月29日(日)7:45~NHK「さわやか自然百景」で角島、北浦地区の自然が放映される予定。

《 編集後記 》

明けましておめでとうございます。昨年末には新型コロナウイルスの感染拡大が終息どころか収束さえ見通すことが困難な状況になってきてしまいました。

会員の皆様も個人レベルでの感染防止対策は或る程度講じていらっしゃると思います。

今年も、体調管理をしっかりと講じた上で皆様のフィールドワーク中心に様々な活動を繰り広げていただきたいと思います。

皆様方の地道に取り組んだ原稿をお待ちしております。(U)

山口県自然観察指導員協議会会誌
＜みどりの風＞

個人レベルでの

■発行 山口県自然観察指導員協議会

会長 大田 和彦

〒744-0043 下松市東陽 2-2-5

Tel(Fax)0833-46-0103

■機関誌編集長 植田 高弘

〒759-6603 下関市安岡町 8-14-21

Tel(Fax)083-258-2706